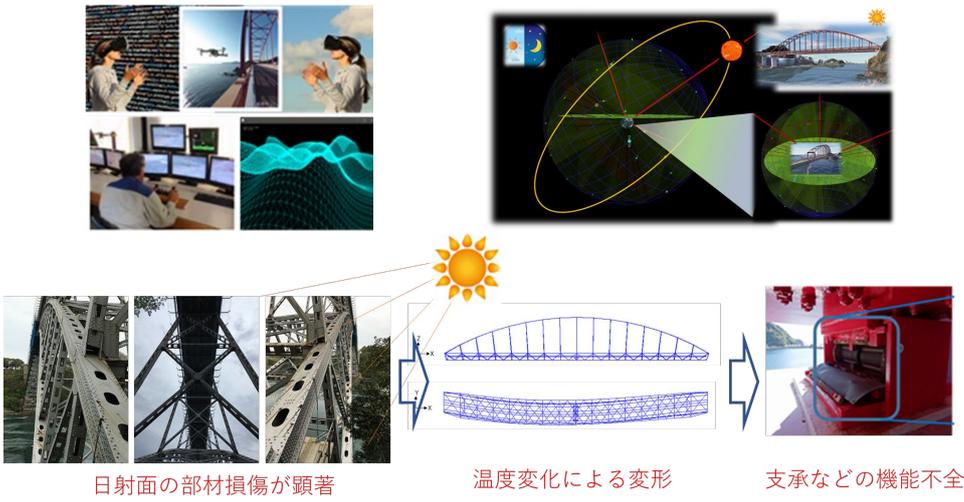


氏名 奥松 俊博 Okumatsu Toshihiro	役職 教授 Professor	専門分野 維持管理工学 Maintenance Engineering
1. 主な研究概要		
<p>老朽化構造物の増加など維持管理上の問題から遠隔性を有するモニタリングシステムが求められるようになってきました。UAV はそれらを解決するツールとして用いられるようになってきましたが、操縦また飛行の安定性等を考えると、様々なリスクを有しています。本研究では、RTK-GNSS や Total Station などの Sensing と対象物の Scan data を融合することにより移動体運用時のリスクの低減を図っています。さらに飛行状況や環境情報の視覚化など、維持管理業務を総合的に支援するための方法についても検討を行っています。</p>		
<p>UAVs have been representative infra-monitoring tools or platforms nowadays. However, there remains some risks for controlling and locationing of the object , and this could consequently lead to secondary accident. We are now developing localization,visualization, and pathplanning systems for infra-structure monitoring, which consist of sensing techs, such as RTK-GNSS, TS, and SfM(Structure from Motion) techs.</p>		
<p>① 橋梁狭隘箇所の変状認識を目的とする GNSS を援用した UAV 自律航行システムの開発 Autonomous control by using GNSS for bridge detailed inspection</p> <p>② 日射が鋼ランガートラス桁橋トラス桁部の温度変化に与える影響の照査 Research on the correlation with solar radiation and temperature of bridge</p> <p>③ 立体視による橋梁支承部の挙動の可視化 3D visualization of bridge support behavior by using stereogram</p>		
		
2. キーワード		
<p>和文：GNSS、橋梁維持管理、橋梁振動・計測、i-con、環境振動・騒音 英文：GNSS, Bridge maintenance, Bridge vibration monitoring, i-construction, Environmental vibration</p>		
3. 特色・研究成果・今後の展望		
<p>橋梁維持管理に関する研究および実計測、環境振動・騒音、i-Con などの推進 無人化施工技術開発実績あり</p>		
<p>researchmap： https://researchmap.jp/read0097496 研究室 HP： https://www.cee.nagasaki-u.ac.jp/</p>		
4. 社会実装への展望・企業へのメッセージ		
<p>無人化施工技術はじめ様々な自然災害の復旧に関する研究・業務に携わってきました。DX を駆使し、将来に役立つ技術開発につなげたいと考えています。長崎をベースに地域社会の発展を目指します。</p>		